



さいたま市

資料 2 - 2

新庁舎整備等について考える 市民ワークショップ

さいたま市 都市戦略本部 都市経営戦略部

2日目



本日の進行について

1. 前回の振り返り
2. 新庁舎市民利用機能等について
3. 本日のワークショップのテーマ



1 前回の振り返り

1日目
さいたま新都心の
楽しい時間の過
ごし方について
話し合おう！

1日目
グループ
発表

2日目
新庁舎にあつた
らよいもの・市民
利用機能等に
ついて考えよう

2日目
グループ
発表

2 新庁舎市民利用 機能等について



新庁舎整備の基本理念・備えるべき機能

①

本市の都市づくりの一翼を担う庁舎

基本理念

- 本市の将来都市像の実現、日本を代表する都市としての飛躍につなげていく。
- 市全体及び地域における都市づくりと調和し、政令指定都市にふさわしい、未来へ躍動する都市経営の拠点とする。

備えるべき機能

- 市全体及び地域における都市づくりと調和し、公共交通機関や商業施設、オフィス等との連携を図り、常に活気とにぎわいのある都市経営の拠点とする。



▲さいたま新都心東口から駅周辺を望む

<https://www.city.saitama.lg.jp/>

②

本市のシンボルとなる庁舎

基本理念

- 本市の歴史や自然、文化などの特性を生かし、さいたま市らしさを内外に発信するとともに、市民が集まり、シビックプライドの醸成にも資する、本市のシンボルとなる庁舎とする。

備えるべき機能

- 市のシンボルとなる施設として、未来に引き継ぐための持続可能な都市づくりの推進を象徴し、シビックプライドの醸成に資するデザインとする。
- 多様な観光・文化資源などの情報発信や市の特性や魅力をPRする機能を持つとともに、国内外からの賓客に対応できる迎賓機能を確保する。



▲参考事例 千葉市役所 市民ヴォイド
(開放的なロビーと大階段で構成される吹抜け空間)
出典：千葉市ホームページ

新庁舎整備の基本理念・備えるべき機能

③ DXなど今後の変化に柔軟に対応し、効果的、効率的に行政運営が行える庁舎

基本理念

- ・ 政令指定都市の都市経営の拠点として、行政機能と議会機能の相互連携や、組織間の連携を考慮し、効果的・効率的な行政運営を可能とする面積と空間を有する庁舎とする。
- ・ デジタル化の更なる進展、事務の増加などの行政需要の変化や業務の効率化、職員の多様な働き方に対応できるフレキシブルな構造と空間を有し、有事の際等にも柔軟に対応できる庁舎とする。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）の意味

・ デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること・既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの



▲参考事例 執務スペース
(横浜市役所 ユニバーサルレイアウト)
出典：横浜市ホームページ

備えるべき機能

- ・ 執務室や会議室は、職員の効率的な働き方やコミュニケーションの円滑化が図れる快適で機能的な空間とする。
- ・ 将来の組織改編等による行政事務の遂行に必要な執務空間の変化や、ウェブ会議などのデジタル化による新しい働き方にも柔軟に対応できる構成とし、長期的な視点から将来の変化に対応できる柔軟性を確保する。
- ・ 有事への対応等、様々な用途に転用可能な施設計画とする。
- ・ 時代の変化や危機にも迅速に対応しうる柔軟かつ堅牢なデジタル基盤を維持する庁舎とする。



▲参考事例 会議スペース
(東京都庁 未来型オフィスプロトタイプ)
出典：東京都ホームページ

新庁舎整備の基本理念・備えるべき機能

4

防災中枢拠点として 災害に対応できる庁舎

基本理念

- ・市民の安心・安全を守る防災中枢拠点として、災害応急・復旧活動を統括する本部機能や広域的な支援・受援機能を発揮し、災害時にも安全に業務が継続できる庁舎とする。
- ・上記の役割を求められていることに鑑み、消防本部機能と一体的に整備し、地震などの災害に迅速に対応できる庁舎とする。



▲参考事例 地下免震装置
(越谷市役所)
出典：越谷市ホームページ

備えるべき機能

- ・災害時の広域的な支援を可能とする緊急輸送道路への近接と機能を確保し、周辺の広場等を一体的に活用した一時避難スペースやボランティア及び物資の受入れスペース等、さまざまな用途に転用可能な柔軟性のある施設計画とする。
- ・免震構造などの採用により、高い耐震性と安全性を確保した庁舎とし、災害応急活動等を総合的に統括する防災中枢拠点として、再生可能エネルギー等を組み合わせた電源の多重化・強靱化に取り組み、危機発生時に対応できる庁舎とする。
- ・災害時の迅速対応、平時を含む警防・防火活動の効率化のため、本庁機能と消防本部機能は一体配置とし、新庁舎に必要な機能等の詳細については、今後精査していく。



▲参考事例 多目的スペース
区の行事や展示など区民活動に利用でき、災害発生時は、被災情報の提供や生活相談などに活用される
(豊島区役所 としまセンタースクエア)
出典：豊島区ホームページ

新庁舎整備の基本理念・備えるべき機能

⑤

SDGsに配慮した環境にやさしい庁舎

基本理念

- ・2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すゼロカーボンシティのシンボルとして、環境にやさしいカーボンニュートラルな庁舎を目指します。
- ・長期的な視点に立ち、耐久性や費用、最新の技術動向を踏まえた整備を行い、ライフサイクルを通じた長期的な環境負荷の抑制に配慮をした庁舎とする。

備えるべき機能

- ・省エネ技術や再生可能エネルギーを導入して、自然通風等の自然エネルギーの直接利用や雨水等の雑用水利用、電化や燃料転換等により脱炭素型の庁舎を目指す。
- ・ライフサイクルコストの低減を目指した施設計画とし、維持管理費の低減と施設の長寿命化を実現する。
- ・緑やオープンスペースを活かした環境を整備し、利用者の健康等に配慮した施設とする。
- ・次世代モビリティ等に配慮した施設とする。



▲参考事例 太陽光パネルの壁面利用
(豊島区役所)

出典：豊島区ホームページ

⑥

すべての人が使いやすいユニバーサルデザインを実践する庁舎

基本理念

- ・すべての人が使いやすく、働きやすいユニバーサルデザインを実践する庁舎とする。
- ・年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらず、安全・安心・快適にアクセスでき、サービスを利用できる庁舎とする。

備えるべき機能

- ・年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらず親しみやすいデザインを採用、安全・安心・快適なアクセス、サービスを利用できる庁舎とする。
- ・共用部分、執務室等は車椅子などを利用する市民等が安全に移動できる幅や執務環境とする。
- ・デジタルサイネージなど各種窓口への円滑な誘導、バリアフリートイレやオムツ交換等ができる場所の設置
- ・駐車場等からの進入路について、円滑な動線を配慮した庁舎とする。



▲参考事例 総合窓口
(渋谷区役所)

出典：コクヨ株式会社ホームページ

新庁舎整備の基本理念・備えるべき機能

⑦

多様な主体による 協働や市民交流が行われる庁舎

基本理念

- ・産学官などによる多様な連携と創造の場となる空間の確保、誰もが気軽にいつでも憩うことができ、市民の相互交流に利用することができる空間を備えた庁舎とする。
- ・多様な主体による全市的な協働や市民交流が行われる庁舎とする。

備えるべき機能

- ・市民や企業、教育機関等の多様な主体が協働・連携した活動や交流を促進するための空間や設備を整備する。
- ・快適で居心地の良いロビー空間など、誰もが気軽にいつでも憩うことができる空間を確保する。
- ・市政情報などの発信を充実するための機能を整備・拡充し、誰もが市政や、まちづくりに関する情報等に気軽にアクセスし、参加できる施設とする。



▲参考事例 オープンスペース
(横浜市役所 アトリウム)
出典：横浜市ホームページ

⑧

セキュリティに 配慮した庁舎

基本理念

- ・高い防犯性を有することにより、庁舎利用者の安全性を確保した庁舎とする。
- ・個人情報や行政文書の保護の観点から、フロアや区画に応じたセキュリティゾーニングを設ける。

備えるべき機能

- ・庁舎内は、取り扱う情報の機密レベルに応じ適切にゾーニングし、セキュリティを要する場所等におけるカード認証など、入退室管理等によるセキュリティ対策の強化、シャッター等の設置による物理的なセキュリティ確保に加え、危機管理室等、それぞれの特性に応じたセキュリティを構築する。
- ・市民利用スペースは、時間外や土日祝日も市民が自由に出入りができるセキュリティ区分を設定する。



▲参考事例 セキュリティイメージ
ICカードによるセキュリティシステム

(参考)新庁舎整備のスケジュール・概算面積

※新庁舎整備等基本構想抜粋

○新庁舎整備への適合性が見込まれる
事業手法を踏まえた、供用開始までの概略スケジュール



※各段階に応じて、市民、学識経験者、民間事業者等への意見聴取等を実施する。

※基本計画の検討に当たっては、事業手法の詳細検討を含むほか、必要に応じてPFI等導入可能性調査を実施。

※設計には、一般的な基本設計・実施設計を含む。

用途	面積(m ²)	参考 現況面積(m ²)	
行政部分	事務室	13,700m ²	12,700m ²
	会議室	2,400m ²	1,600m ²
	倉庫	2,500m ²	2,500m ²
	非常時対応諸室	1,000m ²	700m ²
	市民利用スペース	2,000m ²	600m ²
	その他諸室・共用部分	15,800m ²	17,200m ²
	公用車駐車場	3,000m ²	2,100m ²
	行政部分小計	40,400m ²	37,400m ²
議会部分	3,000m ²	2,000m ²	
合計	43,400m ²	39,400m ²	
新庁舎の概算面積	約43,000m ²	約39,000m ²	

必要面積の詳細については、今後の各計画段階において、精査していきます。

新庁舎の規模と概算費用等

新庁舎の基本理念等を踏まえ、新庁舎の概算面積や概算費用等の見通しについて整理。配置及び構成は、現況のバスターミナル機能の維持、民間施設との複合化の可能性を考慮し、公益複合施設としての一体的な整備を図る方向で検討し、想定される建物構成のイメージ図を作成。

新庁舎の概算面積、約43,000㎡ (現況39,000㎡)

概算面積の算定は、市民利用スペースの拡充と、※国の基準を参考にしつつ、執務室が狭あいである現庁舎の現状を踏まえ算定。

※ 国の基準：国土交通省「新営一般庁舎面積算定基準」
総務省「平成22年度地方債同意等基準運用要綱」

※必要面積の詳細は、今後の各計画段階で精査していく。

新庁舎の概算費用、約221億円

- 本庁舎部分（43,000㎡）の施設整備費として約215億円
- 建設に係る設計費、バスターミナルに係る解体整備費として約17.4億円
- 民間活力を用いた手法により約11.6億円の財政支出の削減効果。

※費用の詳細は、今後の各計画段階で精査していく。

必要面積及び基準階の床面積を踏まえ、概ね20階程度、90～100m程度と想定。



(参考)他市の市民利用やシンボル機能等



▲参考事例 みんなのスクエア
(福島県須賀川市 市民の憩いの場)
出典：yamagiwaホームページ



▲参考事例 千葉市役所 市民ヴォイド
(開放的なロビーと大階段で構成される吹抜け空間)
出典：千葉市ホームページ



▲参考事例 長岡市役所 ナカドマ (屋根付き広場)
出典：長岡市ホームページ



▲参考事例 文京区役所 展望ラウンジ
出典：文京区役所ホームページ



▲参考事例 長岡市役所 ナカドマ カフェ等併設
出典：長岡市ホームページ



▲参考事例 町田市役所 イベントスタジオ、
シティセールスコーナー
出典：町田市ホームページ

(参考)他市の市民利用やシンボル機能等



▲参考事例 オープンスペースとデジタルサイネージ
(横浜市役所 アトリウム)
出典：横浜市ホームページ



▲参考事例 栃木県庁 県政展示コーナー
ロビー待合室
出典：栃木県庁ホームページ



▲参考事例 としまセンタースクエア(屋根付き広場)
区役所1階に設けた多目的スペースの扉を開放すると、屋外と一体的に利用できる。
災害発生時には、被災情報の提供や生活相談などの場として活用する。
出典：豊島区役所 ホームページ



▲参考事例 都庁 都民広場
出典：東京都ホームページ



▲参考事例 甲府市役所
駐車場と一体利用可能な市民コミュニティホール
1階窓を開放すると隣接する屋外駐車場と一体的な利用が可能となっている。
出典：甲府市役所ホームページ



▲参考事例 町田市役所
屋内と屋外の一體的な市民利用空間
出典：町田市ホームページ

(参考)現況写真

さいたま新都心
バスターミナル

さいたま
新都心公園

みどり広場

みどり広場など
活用して賑わい
を生み出せない
かな…

オープンスペー
スは災害時にも
活用できるね！



3 本日のワークショップのテーマ

新庁舎にあったらよいもの・
市民利用機能等について考えよう



《目指すゴール》

新庁舎にあったらよいもの、
市民利用機能等について検討する。



セッション1で話し合った「さいたま新都心での楽しい時間の過ごし方」を参考に、新庁舎にあったらよいもの、サービスなどの意見交換を行います。